

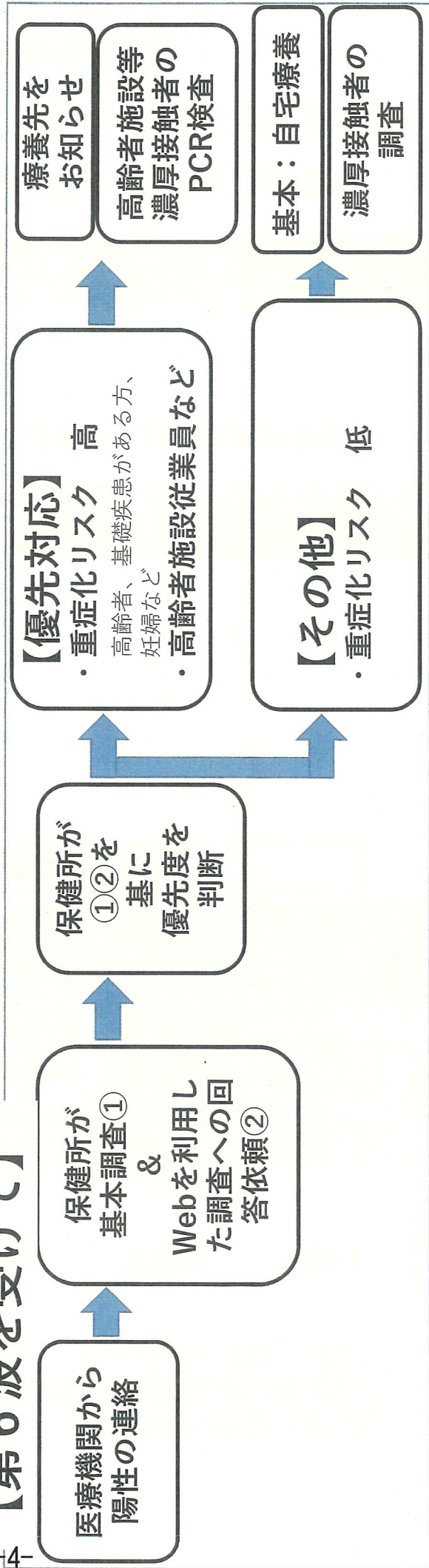
コロナ感染者への対応の見直しについて

病状などに応じ、重症化リスクの高い方を優先的に対応

【これまで】



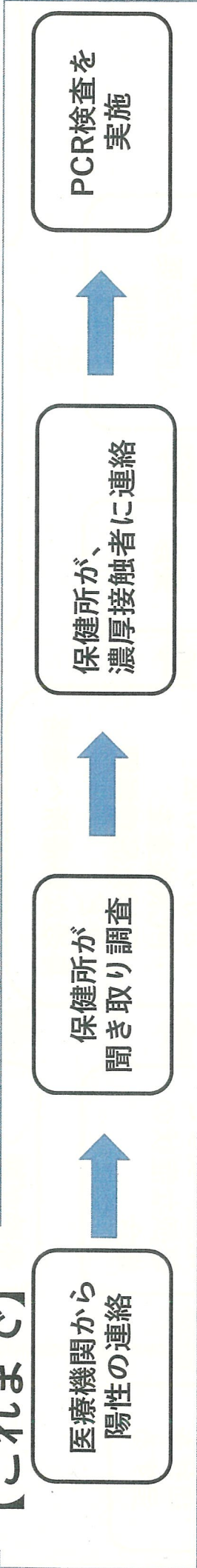
【第6波を受けて】



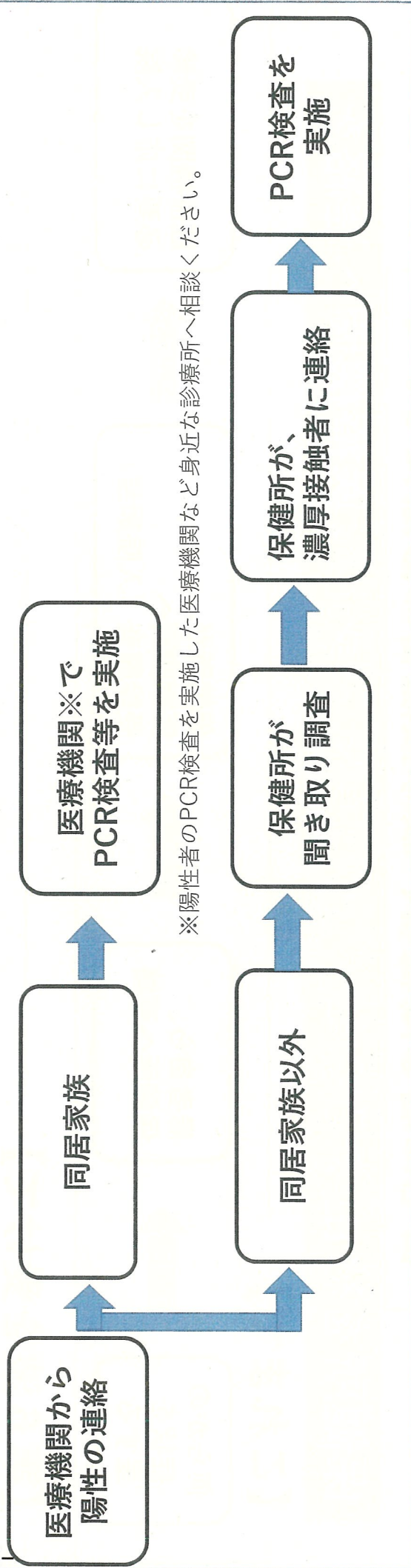
濃厚接触者の調査について

同居家族の検査を医療機関で速やかに行い、感染拡大を防ぐ

【これまで】



【第6波を受けて】

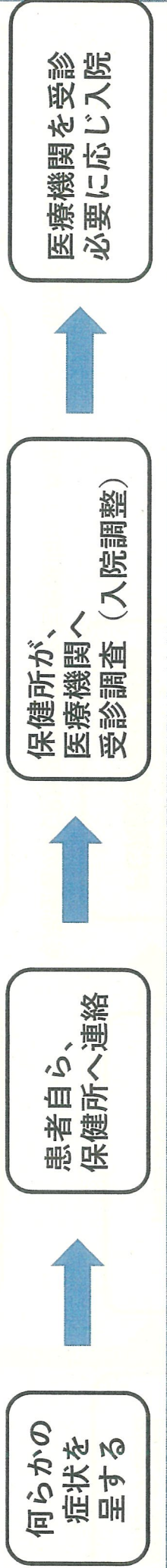


※陽性者のPCR検査を実施した医療機関など身近な診療所へ相談ください。

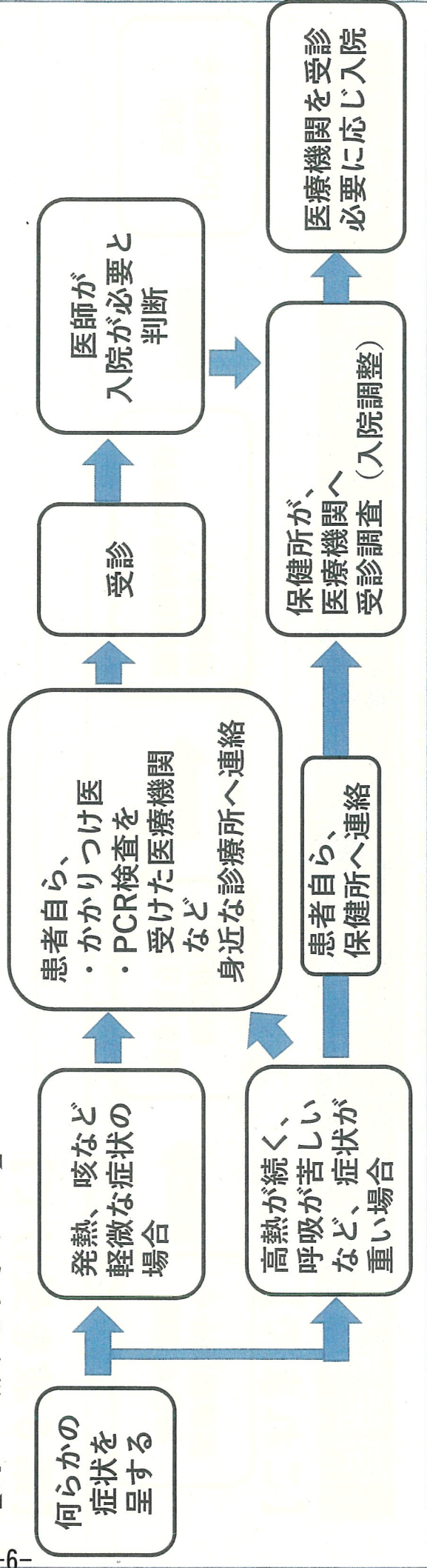
自宅に居る陽性者、濃厚接触者の診療について

保健所を経由することなく、直接、身近な医療機関へ連絡を

【これまで】



【第6波を受けて】



学校園等におけるコロナ陽性者発生時の対応について

【考え方】

- (1) オミクロン株は潜伏期間が短く、発症まで概ね3日程度であること、また、何らかの症状を呈することが多いことから、陽性者との最終接触から丸4日を超えても症状がでなければ、感染している可能性は低いと思料される。
- (2) 感染対策を行ったうえでの通常授業等においては、無症状病原体保有者からの感染のリスクは低いと思料される。

【対応】

陽性者が、発症後に登校（園）している場合、陽性者との最終接触日の翌日から学級閉鎖など4日間の隔離を行ない、感染拡大を防ぐ。

【イメージ】

最終接触	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
------	-----	-----	-----	-----	-----

患者A（症状有）の最終登校	患者A陽性 → 学校へ連絡 登校なし	
---------------	--------------------------	--

学級閉鎖 1日目	学級閉鎖 2日目	学級閉鎖 3日目
-------------	-------------	-------------

学級閉鎖 2日目	学級閉鎖 3日目	再開
-------------	-------------	----

学級閉鎖 3日目	再開	
-------------	----	--

再開